神田小学校　学校だより
Ｒ2年1月23日発行

Dandelion

第57号

「新しい年を迎えて」

校長　木下幹司

冬休みのか・た・ち

か：かぞくのために
た：たのしくすごす
ち：チャレンジする

新しい年を迎えました。皆様にとって２０２０年が幸せ多き年になりますことを、お祈り申し上げます。

始業式、私は全校児童に「冬休みのかたち」がどの程度できたかたずねました。すると、ほとんどの児童が、家族のために自分のできることをしたり、楽しく過ごしたりすることができたようです。チャレンジについては、自信がないのか、手があまり挙がりませんでした。高学年になるにつれてそれが顕著だったので、子どもたちの目標が高すぎたのかもしれません。目標が高いのは良いことです。しかし、どうせ無理だと諦め、やる気を無くしてしまっては元も子もありません。

子どもたちがチャレンジする勇気をもてなくなる要因のひとつは、周囲の大人だけではなく、肝心の本人が結果ばかりにとらわれてしまっているからだといわれます。結果は大切ですが、その過程に注目し、できるようになったことを、周囲の人と認め合うことができれば素敵ですね。

２０２０年は、メダルを目指す選手たちからたくさんの勇気をもらい、チャレンジし続ける１年にしたいものです。保護者・地域の皆様、本年も神田小の子どもたちをよろしくお願いいたします。

神田小近辺に住む青い鳥（カワセミ）

撮影：地域の方

1/21　己書体験(6 年)~それぞれの思いを、ひたむきに書に表しました

真剣に自分の思いと向き合い、集中して取り組む姿に感心しました。書に限らず、思いを表現する方法は多岐にわたります。学校で様々な表現に触れ、家庭で、子どもが追求できるように心がけたいものですね。

青少年健全育成講演会が行われます

自信の無い子どもたちが増え、ねばり強さやがむしゃらさが子どもたちから感じられなくなっています。結果や失敗を恐れる子どもが増えている現在、本物の自信を育むことが大人の役目ではないでしょうか。神田コミュニティでは、臨床心理士・スクールカウンセラーとして県内外でご活躍の山口先生の講演会を開催します。お誘いあわせの上、是非、ご参加ください。

日時　2/2(日)　13:30~　横根公民館ホールにて
演題　「子育て」から「子育つ」
－デジタルな時代に、温度、ふれあい、そして感謝を!－
講師　山口　力　さん

臨床心理士。県教育委員会義務教育課にて、児童生徒の問題行動等に関する文部科学省委託の研究事業に携わる。児童養護施設心理療法士等を経て、現在は、小学校、中学校、高等学校スクールカウンセラー、保育園巡回療育相談員として児童生徒、保護者、教員の相談活動に携わる。愛知教育大学非常勤講師

小中学校保護者に配布される「あいちのPTA」にコラムを連載中。

1/17 ３学期授業参観　～ありがとうございました～

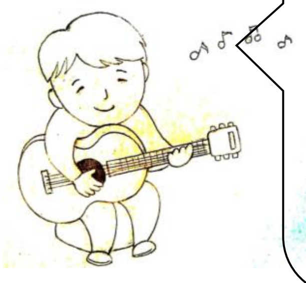
特定される
可能性のある情報

３学期の授業参観では、二分の一成人式（４年）、ネットモラル塾（５年）をはじめ、タブレットを活用した授業等、様々な取り組みをご参観いただきました。タブレットを道具として活用する子どもたちの姿を見て、着実に成長していると感じました。神田小学校は、今後もICT機器を活用し、プログラミング教育や主体的・対話的で深い学びの実現に取り組んで行く所存です。

1/9 書き初め会　～透き通った空気の中で～

◇◇

かんちゃん日記



昔「電子ブロック」がほしいとサンタへの手紙に書いた。クリスマスの朝、枕元にあったのは、「マイキット１００」だった。ぶつぶつ文句を言う私のそばで、父が、「これは難しそうだが、１００種類以上の電気機器が作れるな。これができる小学生は、すごい。」とぼそっとつぶやいた。私は父にほめられたい一心で、試行錯誤の末にラジオ回路を完成させた。何度も試して、音が聞こえた瞬間の感動は今も覚えている。達成感は、面倒くさいの先にあるのだ。いよいよプログラミング教育が本格的に始まる。子どもたちがプログラミング教育を通して、課題解決の手法を、楽しみながら身に付けてくれたら･･･と切に願う。

本校ホームページは、令和元年９月１日より、http://www.obu-c.ed.jp/kanda-e/で運用しています。
学校便りのカラー版はそちらでご覧ください。